

## 「授業の流れ」

### 【小学生 国語・算数】

火木曜日 1～6年生 17:00～18:15

国語	算数
各自に目標ページ数を設定します。 (基本は見開き5ページ。1か月で1冊以上終了するペースです。)	
目標ページ数を達成したら自分の勉強をして構いません。また、目標ページ数を達成できなかった生徒は宿題とします。それでも達成できない生徒は、日曜日等に補講をします。	

1. テキストは無学年進級式の『のびのびじゃんぷ』を使用します。  
1年生から6年生までの内容が約40級に分けられており、各級は15回分の問題と進級テストの合計16回分で構成されています。見開き1ページにつき、新しい内容が1つ登場します。そして、その類似問題を5回繰り返して身につける仕組みです。100点を積み重ねていくことが可能です。
2. 15回分が終了したら進級テストを受け、合格すると進級証明書を受け取って次の級に進みます。
3. 現在使用している教材は25年以上前から、改定されながら小学生の基礎力養成に使用されています。40級まで修了した生徒は中学校で学ぶための十分な力を備えたことが証明されています。しかし、現在、他の教材も模索中です。場合によっては教材が途中で変わる可能性もありますのでご了承願います。なお、授業料にはテキスト代を含んでいます。1か月間にどれだけ進んでも構いません。

### 【小学生 英語コース】

5年生：水曜日 17:00～18:15

6年生：金曜日 17:00～18:15

宿題の確認と音声練習	インプット（新しい内容）	復習とアウトプット
アルファベット、フォニックス ローマ字、ボキャブラリーなど	新出学習事項、読み物、活動、 ゲームなど	演習による復習、ラジオを聴く課題 の提供、お帰り課題など
20～30分	20～30分	20～30分

1. 『音声練習』はフォニックスに関する教材を使用します。『英語の耳』『英語の口』『英語の発想』を身につける練習です。
2. 『インプット』はオーソドックスな文法体系をベースとした『Up & Away』を主に使用し、体系的に英語を学んでいきます。また、記憶を定着させるために、文字を書く学習も行います。
3. 『アウトプット』は習った内容を使えるように練習します。
4. 宿題には音声教材が含まれます。家庭学習でCDやラジオを聞くことを求めますので、聞くことのできる環境の整備をお願いいたします。NHKの『小学生の基礎英語』等の英語番組を視聴してくることを課題として与えます。
5. 持ち物は、ファイル、テキスト、筆記用具です。靴なども含めて、記名を忘れずをお願いします。
6. 授業前後の待ち時間に学校の宿題等をやっても構いません。
7. 年間48回、1か月平均4回の授業です。

## 【中学生 英語コース】

基礎		応用	
・その日の確認テスト	・学校の授業内容に沿った復習や先取り学習	・文法項目の定着と読むことの楽しさを中心に、理解することの楽しさを味わいます。	・『基礎英語』等の音読確認 ・『キーセンテンスリストカード』日→英テスト ・ノートの確認
15分	30分	30分	15分

1. 各自のレベルに応じた NHK のラジオテキスト『基礎英語』を聞いて、正しく音読することにより、英語の音に慣れるとともに、英語を聞いてわかる力をつくります。また、その学習方法を体験することによって、将来、自らの力で英語を学ぶ力をつくります。
2. 学校の学習内容を考慮した授業を『基本』の中で行い、より発展的な内容を『応用』の中で扱います。英語は言葉の並べ方ですので、『基本的な文法の習得』と『ボキャブラリーの構築』が大切です。
3. 少人数（最大8名）の授業によって、各自のレベルに応じた課題を与えることが可能です。
4. 年間48回の授業です。定期テスト前には対策講座を行います。
5. 最も大切なのは学校の課題です。学校の授業や宿題をおろそかにする生徒の成績を伸ばすことは出来ません。また、問題集やワークブックに対する正しい取り組み方を求めます。答えを写すことが勉強だと思っている生徒の成績を伸ばすことは出来ません。

## 英語コース別 授業レベル一覧

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
				小5・6コース							
						中1コース					
							中2コース				
								中3コース			

## 【中学生 数学コース】

基礎	応用
・『みるみるわかる数学の要点』で基礎を学びます。 ・学校の副教材『基礎の学習』などの取り組み状況を確認します。	・それぞれの理解度に応じた問題に取り組みます。 ・学習が終了した生徒は『毎日ノート』等に本日間違った問題等をやり直します。
40分	30分